



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: カラーパウダー 緑
会社名: トーヨーマテラン株式会社
住所: 愛知県春日井市明知町1512番地
電話番号: 0568-88-0777
FAX番号: 0568-88-2685
担当部門: マテリアル事業部 開発品証Gr
緊急連絡先: マテリアル事業部 開発品証Gr
電話番号: 0568-88-1101
FAX番号: 0568-88-0952
推奨用途: 建築土木材料
使用上の制限: 推奨用途以外への使用を禁止する。

2. 危険有害性の要約

- (1) GHS分類(自社分類) 該当なし
(2) GHSラベル要素
絵表示 該当なし
注意喚起語 該当なし
危険有害性情報 該当なし
注意事項

【安全対策】

子供の手の届かないところに置くこと。
粉塵の吸入を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと
環境への放出を避けること。

【応急処置】

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
特別な処置が必要である。
漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

都道府県/市町村の規則に従って内容物、容器を廃棄すること。

- (3) GHS分類に該当しない危険有害性

多量に吸入、経口摂取すると、咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れがある。
多量、又は長時間にわたって吸入した場合、塵肺を起こす恐れがある。

3. 組成及び成分情報

- (1) 化学物質・混合物の区別 : 化学物質
(2) 組成及び成分情報

成分の化学名 又は一般名	化学式又は構造式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	PRTR法	含有量 [%]
酸化クロム(III)	Cr ₂ O ₃	1-284	1308-38-9	1-87	≤99

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、水又は温水でうがいをし、医師の手当を受ける。
汚染された衣類や保護具を取り除く。
呼吸が弱い場合やチアノーゼが認められた場合は、直ちに酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合

速やかに洗い落とし、必要に応じて医師の手当を受ける。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、医師の手当を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が行き渡るように洗う。

飲み込んだ場合

直ちに医師の手当を受ける。

意識のある場合は多量の水を飲む。
予想される急性症状及び遅発性症状
多量又は長時間にわたって吸入した場合、塵肺を起こす恐れがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項
必要に応じて保護マスク、手袋等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災発生時には、ウォーターズプレー、泡沫、粉末化学消火剤あるいは二酸化炭素を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な保護具を着用する。
風下では作業しない。
関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

出来るだけ発塵しない方法で回収し処置する。
河川、排水路、下水、側溝等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。
河川、湖沼、公共水域へ混入すると、少量でもこの範囲にわたり影響がでる為、流出は絶対に避ける。
公共水域へ流出した場合、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出、飛散した場合には、掃除機・スコップ等によりできるだけ粉体の状態で回収し、
廃棄まで容器で保管する。やむを得ず、床面等に残ったものは水で濡らしたウェス等でふき取る。
洗浄水は回収し、適切に処理する。
回収物や回収した洗浄水は、『13.廃棄上の注意』に従い、廃棄または排水する。

二次災害の防止策

発塵しないよう、速やかに回収する。
排水路、側溝等への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

取扱いは、換気の良い場所で行う。
密閉された場所における作業には、十分な局所換気装置を付け、
適切な保護具を付けて作業すること。

安全取扱い注意事項

発塵させないように取り扱う。
眼、皮膚、衣類などに触れたり、吸入したり飲み込んだりしないように、防塵マスク、
保護眼鏡、保護手袋など適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
取り扱い後は、手、口、眼、顔等を洗浄する。

接触回避

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用すること。

衛生対策

取扱い後は、手、顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない事
取り扱うときには、飲食または喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、乾燥した冷暗所に発塵しない方法で保管する。
水との接触の恐れがない場所に保管する。
施錠等により、部外者が触れない措置を講ずる。
子供の手の届かないところに保管すること。

安全な容器包装材料

防湿のため密閉可能な袋または容器を使用すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度

酸化クロム(III)

: 日本産業衛生学会 OEL-M 0.5mg/m³(クロム)

詳細情報: 第3群: 人に対する生殖毒性の疑いがある物質、気道感作性物質、
皮膚感作性物質、第1群 人間に対して明らかに感作性がある物質

設備対策

局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具: 防塵マスク等を着用する。
手の保護具: 保護手袋等の保護具を着用する。
目の保護具: 保護眼鏡等の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具: 保護衣等を着用する。

衛生対策

取り扱い後は手洗い、うがい、洗顔等を十分行い、皮膚や粘膜から洗い流す。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体、粉体
色	緑色
臭い	無臭
融点・凝固点	2,435℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	4,000℃ (1,013hPa)
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃	データなし
引火点	非該当
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5~7 含有量:5%
動粘性率	データなし
溶解度	不溶
n-オクタール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	5.22g/cm ³ (20℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	化学的に安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	取扱い時に粉じんを発生させない。 吸湿するため湿度の高い環境に長時間置かない。
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	LD ₅₀	ラットのLD50 > 5,000mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401 GLP: 該当
	吸入	LC ₅₀	ラットのLD50 > 5.41mg/l 暴露時間: 4h 試験環境: 粉じん/ミスト 方法: OECD 試験ガイドライン 403 GLP: 該当 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。 備考: 試験時の投与量による死亡はみとめられない
	経皮	LD ₅₀	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
呼吸器感受性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
皮膚感受性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
生殖細胞変異原性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
発がん性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
生殖毒性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
特定標的臓器毒性(単回暴露)	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
特定標的臓器毒性(反復暴露)	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		
誤えん有害性	利用可能な情報に基づく限り分類できない。		

12. 環境影響情報

生態毒性	溶解度限界値における毒性なし
残留性・分解性	酸化クロム(III) 成分分解性 : 備考; 成分分解性の判定方法は無機物質には適用されない
生態蓄積性	酸化クロム(III) n-オクタール/水分配係数: 備考: 非該当
土壤中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	非該当

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報
硬化後、内容物/容器を都道府県の規則に従って破棄すること。
洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に基づき処理を行う。
粉体の破棄は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の汚泥の処理基準に基づき破棄する。
硬化体の場合は、破棄物の処理及び清掃に関する法律の建設廃材の処理基準に基づき破棄する。
洗浄水の排水は、水質汚濁防止法に基づき処理を行う。
容器の破棄は残余廃棄物と同様、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託す
外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を依頼する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

該当しない

国際規制

該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

なるべく粉塵の発生しない方法で輸送する。

荷姿がフレコン、袋の場合は、破袋、損傷、漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。

湿気、水濡れに注意する。食品に近づけない。

15. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

労働安全衛生法(粉塵障害防止規制)

労働安全衛生法第57条 表示対象物

クロム及び化合物 : 政令番号142

労働安全衛生法第57条の2 通知対象物

クロム及び化合物 : 政令番号142

化学物質管理法 : クロム及びその化合物 第1種指定化学物質 政令87 含有量68%

水質汚濁防止法 : 有害物質 法第2条 施行令第2条 排出基準を定める省令第1条

指定物質 法第2条4項 施行令第3条の3

16. その他の情報

本製品に当社が認めた材料以外のものを混合したり、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用するときは、
使用者において安全性を確認してください。また、本データシートに記載のデータは保証値ではありません。
記載内容は、作成時また改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・
取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報をもうらしたのではなく、新たな情報を入手した場合に
追加・修正を行い改訂いたします。
本文書の記載の内容は我々の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ・完全性を保証するものではありません。